

5 NO.56 ハンドボール

日本ハンドボール協会公式記録用紙

スローオプゲーム 大分県

No. 12 (16名用)

A	大阪府	大分県	B
合計	21	33	合計

A 徳永昌亮 7m TC 平井徳尚

A	大阪府	警告	退場	失格	チームタイムアウト		
					前半	後半	
役員A	徳永 昌亮				06	09	
役員B	吉田 耕平				17	10	
役員C	平田 彰				得点		
役員D	天野 文太				前半	後半	
1	太西 暁斗				-	2	
2	松下 海				-	-	
3	渡田 良広				-	-	
4	前園 将至				-	1	
5	片岡 祥馬				-	4	
6	船藤 大海		X	T	-	2	
7	梶本 瑛斗				-	-	
8	長谷川 政二				-	4	
9	下柳 裕嵩				F	-	
10	池本 佑也				F	7	
11	大野 義幸				-	1	
12	堀田 陽大				-	-	
合計					12	9	21

B	大分県	警告	退場	失格	チームタイムアウト		
					前半	後半	
役員A	平井 徳尚				28	40	
役員B	富松 秋實				24	56	
役員C	浅川 翔太				得点		
役員D					前半	後半	
1	芳山 直樹				-	-	
2	橋口 博隆				-	2	
3	上田 悠平				-	-	
4	藤田 渉				-	1	
5	山本 晃大				F	5	
6	利光 克仁				F	6	
7	広沢 翼				T	5	
8	安部 高雅				-	1	
9	本田 悠也				F	5	
10	伊藤 達太郎				-	2	
11	山田 翔晴				T	6	
12	片山 涼				-	-	
合計					17	16	33

タイムキーパー 梶本 龍政 スコアラー 石川 左雄大
 サイン 竹下 晴彦 サイン 木下 豪人
 審判員1 片山 翔晴 サイン 田中 悠
 サイン 片山 翔晴 TD2 田中 悠

大会名	平成27年度 第70回国民体育大会ハンドボール競技		
平成27年 9月 29日 (火)	場所	和歌山市立河南総合体育館	
種別	少年	<input checked="" type="radio"/> 女	回数 第2回戦 準決 決 リーズ

背番	前半		後半	
	結果	得点	結果	得点
		00 43	5 13	02 41
		03 04		03 06
10	1	03 17	9	14 04
		04 06	4	15 04
5	2	04 50	6	5 05
		05 05	10	16 05
		06 10	5	17 06
⑦		06 57		06 41
		07 23	⑦	08 06
		08 28		10 13
		08 54	10	18 10
10	3	09 24	4	W 11 45
		10 13		12 32
10	4	10 43		15 16
		10 57	⑦	17 10
6	5	11 17		19 25
11	6	11 54		20 54
		13 28	6	5 22
9	7	14 30	4	5 22
		15 00		23 47
2	8	15 13	10	19 24
6	W	15 40		25 22
9	9	16 20	5	20 25
		16 31		26 42
		17 36		26 50
6	10	18 02	2	21 28
		22 48		29 48
9	11	23 18		-
		25 21		-
		26 30		-
		28 40		-
10	12	29 54		-
21 - 33				

特記事項

No.57 ハンドボール

第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体 ハンドボール競技会 戦評報告書

競技日	平成27年 9月29日	試合番号	C-12
種別・回戦	少年男子 準々決勝	会場	河南総合体育館

大阪		大分		得点チェック欄	
21	12	前半	17	前半	<input type="checkbox"/>
	9	後半	16	後半	<input type="checkbox"/>
		第1延長前半		第1延長	<input type="checkbox"/>
		第1延長後半		第2延長	<input type="checkbox"/>
		第2延長前半		7mTC	<input type="checkbox"/>
		第2延長後半		合計点	<input type="checkbox"/>
		7mTC		記録主任確認	<input type="checkbox"/>
		33			

戦評	戦評委員氏名	林 賢太郎
----	--------	-------

スローオフから20秒で大分5番山本のステップシュートが決まる。序盤は大阪のミドルシュートがごとく大分1番芳山の好セーブに遭い苦しい展開となる。大分が速攻、サイドシュートなどの連続得点で4点差をつけたところで、大阪が1回目のタイムアウトを取るが、流れをものにした大分が落ち着いた組立てで点差を6点とする。崩れかけた大阪だったが12番ゴールキーパー堀田がノーマークシュートを連続でセーブし、反撃する。中盤以降は両者互角の速い攻めからの点の取り合いとなったが、大分が5点をリードし、前半を終了した。

後半の立ち上がりは、前半同様スピード感あふれる展開となった。大分オフェンスに的確な対応を見せるようになった大阪は退場者を出しつつも、10番池本のミドルシュートなどで2点差まで追いつける。しかし、大分は、大阪のオフェンスミスからの速攻などで再度点差を広げる。7点差となったところで、大阪は2度目のタイムアウトで諦めない姿勢を確認する。しかし、試合終盤、大阪は連続で退場者を出し、4人での攻防を強いられることとなった。大分はこのチャンスにリードを広げることに成功し、25分にはその差を12点とした。大阪は終了間際には2番松下がロングパスからのサイドシュートを決めるなど、意地を見せるが、大分が33-21で熱戦を制した。

送信担当記録委員	中本 富基
----------	-------

